

令和3年12月22日

保護者様

静岡大学教育学部附属浜松小学校
校長 大村 高弘

教育評価 保護者アンケート結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に御理解、御協力をいただき、御礼を申し上げます。

さて、学校評価アンケートへの御回答ありがとうございました。本校は、学校の特性上、教育研究と教育実習という2つの使命を果たしながら、お子さんのよりよい成長を願って教育活動を実施しております。皆様には、本校の特色を十分御理解いただいた上で、様々な御配慮をいただいていることに感謝申し上げます。

今回、皆様から寄せられました多くの御意見と学校の考えを下にお知らせいたします。（集計結果は別紙）学校の教育方針や取り組み、お子さんの様子など、保護者の皆様のお声を励みに、教育活動をより一層充実させていきたいと考えております。

また、御指摘いただきました点について本校の考えを掲載させて頂きました。紙面の都合上掲載できなかった御意見につきましても、職員で共通理解し、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。これからも、本校教育活動に対する御理解、御協力をお願いいたします。

複数いただきました御意見の中から、一部を抜粋して紹介いたします。

- ・学校の教育方針や取り組みに大変満足で、心から感謝しております。動物村やわくわく旅行など、子どもにとってとても貴重な体験です。土日でも先生方が学校へ来て動物の赤ちゃんの世話をするのを見て本当に感動しました。
→本校の教育方針を御理解いただきありがとうございます。また、休日のお世話も御協力いただきありがとうございます。命を預かる重みを低学年ながら感じ、多くのことを体験的に学ぶことができています。
- ・コロナ禍で全て中止になってもおかしくない中、対策をきちんとした上でいろいろな活動や行事を行ってくださりとても感謝しております。第6波の前に様々な行事が早く実施できると嬉しいです。
→コロナ禍前と同様の活動をするには未だ難しい状況ですが、中止するのではなく活動内容を工夫することで実施していることへの御理解ありがとうございます。
- ・コロナ禍で参観会も直接観ることはできませんでしたが、オンラインで普段の様子が見られ、先生方の熱心な御指導に感謝します。
- ・オンラインでの参観会では画面上では見えにくいこともあり、ぜひ実際に行って様子を観たいです。
→オンライン配信では全員を画面におさめるにはどうしても一人は小さくなってしまいます。また、通信環境や担任の配信準備時間等により各クラス2台のウェブカメラで参観時に配信することが現在できる最善策と考えておりますので御理解ください。
1、2学期は直接参観していただく機会をもつことができず非常に残念でしたが、感染状況が落ち着いていることから、3学期は直接参観していただくことを計画しております。

- 子どもが毎日楽しい気持ちで登校できるのは、先生方の御指導のお陰だといつも感謝の思いでいっぱいです。今後ともよろしくお願ひします。
→朝、子どもたちが登校してくる様子や、授業で意欲的に活動する様子を見ても、楽しく学校生活を送っていることがうかがえます。
- 体験活動や掃除など、異学年での交流が盛んでとても良いと感じております。異学年で触れ合うことで下学年へはやさしさと責任をもって接し、上学年へは尊敬する態度が自然と身に付きました。
→1年生から6年生までの体験活動を有機的に繋げることで自律や協同の力が育まれるよう教育課程を編成しております。異学年での交流によって、リーダー性や思いやりの心も育まれていると感じております。御理解いただきありがとうございます。
- 担任の先生が密に連絡をくださり、子どもの様子を伺ったり、相談したりしやすく、そのお陰で今親子共々学校生活に前向きになれていて本当に感謝しています。素敵な先生に出会えて、この学校へ入ってよかったと感じています。
→前向きに学校生活を送ってくれて嬉しひです。お子さんの様子を見ていて気になることがありましたら、またいつでも御相談ください。
- 下校時の道のりに教師か保護者が一人見守りとして立つのが望ましいと思う。防犯上もあるが、子ども同士がふざけながら下校してひて事故に遭うのではないかと危険を感じることもあった。
→本年度は定期的に補導部の方に御協力いただきて下校指導を行うようにしておりますが、日常的に多方面の通学路を見守りすることは難しひのが現状です。通学班会や各学級で登下校のマナーについて今後も継続指導してひきます。
- メール、FAX、ホームページを使って学校、先生、保護者の負担が減ってきているので、非常によいことだと思ひます。先生の負担が減る提案があれば学校側から言っただされば保護者も協力致しします。
→いつも本校の教育活動や運営方法に御理解と御協力をいただきありがとうございます。本年度より毎月発行の学年だより等の便りをホームページに掲載することで、保護者の皆様にもいつでも確認していただくことができるようになりました。
- 先日、ランドセル症候群として、重ひランドセルの問題を取り上げた調査結果が発表されました。子どもたちの心身の健康や安全のためにも「置き勉」についていかがお考えか教えてください。
→基本的には家で活用することが想定される教科は持ち帰り、それ以外の教材は学校保管を可とするという考えです。現在も書写や道徳等、学年や教科によって教材を学校に置いております。しかし、改めて学校保管教材について職員で共通理解してひきたいと思ひます。
- 子どもたちに配付する便りをメールに添付していただけると助かります。ホームページアクセス集中時に情報が閲覧できないことがあり、メールの方が受け取ったデータを確認しやすひです。また、出欠席連絡もFAXからメールへ移行していただけると、病院からも発信できて診断書の添付等活用も考えられると思ひ提案させていただきます。
→ホームページ掲載ではなく、メールへ便りを添付することについては、今後いただいた意見を参考にして検討させていただきます。また、出欠席連絡については、現状のメール管理システムでは対応することができません。したがって、連絡方法を変更するためには、メール管理を委託している業者を変更する必要があります。現在中学校と合わせて業者に委託してひるので、本校のみで変更することはできないため、小中学校としてよりよい連絡方法を再度検討してひきます。